

優秀賞

しんぶんやさんとわたし

矢田小学校一年 畔柳 舞

「ブーン。キキキー。」

「あ、しんぶんやさんだあ。」

わたしは、ほいくえんのねんちゆうのときから、ゆうかんをうけとるおてつだいをしています。おかあさんにわたすと、よろこんでくれるからです。ほいくえんときは、

「はい、どうぞ。」

と、しんぶんやさんのおじさんにいわれても、はずかしくて、ニコツとわらうだけでした。いまは、

「ありがとう。」

と、いえるようになりました。

4がつになって、わたしがしようがっこうのせいふくをきてうけとりにいったら、

「ピカピカの一ねんせい、おめでどう。」

と、いつてくれました。わたしはエへへと、わらいました。

どようびに、たいそうふくをきていたら、

「きようは、うんどうかいだったの？」

「がんばったね。」

といってもらいました。

あるとき、いつもの四じ三十ふんになっても、バイクのおとがしませんでした。三日かんくらい、ちがうじかんに、くろいＴシャツのわかいおにいきさんがはいたつしてくれました。いつものおじさん、どうしたんだろう？と、しんぱいになりました。

しばらくして、またいつものおじさんにもどりました。ふう、よかった、ところのなかでおもいました。

あめの日は、レインコートをきて、ながぐつをはいて、きてくれます。ぬれないように、ビニールぶくろにいったゆうかんをわたしてくれます。あめがふっているときは、いつもより二十ふんくらいおそいです。わたしも、かさをさして、ながぐつをはいて、そとでしんぶんやさんのおじさんをまっています。あめの中をたいへんだね。かぜひいちやうよ、ところの中でちよつとしんぱいになりました。

もしもわたしがおとなになったら、しんぶんやさんみたいなおしごとができるかな？あめの日も、かぜやゆきの日なども、まいにち休まずに、しんぶんをみんなのおうちにとどけてくれます。わたしは、あめがザアザアふっていると、車で学校にいききたいなあと、すぐにおもってしまいます。だから、しんぶんやさんのおじさんはかっこいいです。

「せが大きくなったねえ。」

と、このまえ、おじさんがいつてくれました。わたしは、ウフフとわらいました。これからもまい日、しんぶんやさんから、ゆうかんをうけとるおてつだいをしたいです。そしてこんどは、もっと大きなこえで、

「ありがとう。」

といつて、うけとりたいです。

